

IV 良質な個別サービスの実施(高齢者福祉施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
<b>A-1 利用者の尊重</b>						
<b>(1) 利用者の尊重</b>						
1	1	○				利用者への言葉遣いや接し方については職員ガイドブック『職員の心得・接遇関係』に明記されており、利用者の抱く想いや要望の把握に務める信頼関係の構築はできている。
2	2	○				サービス開始にあたり利用者や家族の意向を確認し施設サービス計画に反映している。居室に関しては利用者のプライベート空間だという認識のもと部屋担当職員と環境作りに取り組んでいる。
<b>(2) 利用者の権利擁護</b>						
3	1	○				権利侵害防止を目指して『虐待の芽チェックリスト』を用いて職員自身のチェックを行いユニット会議で話し合いながら職員の意識啓発に取り組んでいる。
<b>(3) 家族との連携・交流</b>						
4	1	○				工夫を凝らしながら法人広報誌『Heart News』を作成し、また、施設行事や運営促進会議へ家族が参加出来るようにするなど連携・交流に努めている。
<b>(4) 生活環境づくり</b>						
5	1	○				プライバシーは保護されており、居室内の家具はできるだけ持ち込みを推奨し、環境作りに配慮をしている。また、共用スペースの工夫を凝らしながら飾り付けて憩いの場所を提供するなどの配慮も見受けられた。
<b>(5) 終末期ケア</b>						
6	1	○				終末期に関するマニュアルを整備し、利用者や家族へターミナルケアの体制を説明し実践している。また、『偲ぶ会』を催してユニット職員で亡き利用者を語り合う時間を設けている。
<b>A-2 日常生活支援</b>						
<b>(1) 食事</b>						
7	1	○				サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。
8	2	○				嗜好調査を実施し献立に反映している。また、利用者の希望に応じて飲酒も可能、その他、地産地消も実施している。
9	3	○				各ユニットごとで話し合いながら環境作りに取り組んでおり、食事時間も幅を持たせて利用者の状況や希望に沿って対応している様子が伺えた。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
<b>(2) 入浴</b>						
10	1	入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			入浴アセスメント表によって個別の状況を把握し、安全に配慮しながら状況に応じた介護で入浴は行われている。
11	2	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			利用者の意向に沿った介助方法で行われおり、入浴時間や回数等は利用者の希望を可能な限り受け入れて更に汚染時や汗をかいた時などは随時シャワーでの対応が出来る配慮がされている。
12	3	浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			環境には十分配慮がなされており、プライバシーの観点からも可能な限り1対1での介助で入浴がなされている。
<b>(3) 排泄</b>						
13	1	排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			個別の状況を把握し介助方法など個人的事情に配慮がなされている。また、皮膚トラブルを起こさない為に品質管理を徹底して製品を検討しながら提供している。
14	2	トイレ環境に配慮している。	○			各居室に設置されており、清潔でプライベートな環境を提供がなされている。設計段階からのこだわりとして便器は移乗しやすいように斜めに設置されている。
<b>(4) 移乗・移動</b>						
15	1	移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			個別アセスメント表で状況を把握し、必要な場合は身体状況に応じた福祉用具を用意している。
<b>(5) 外部介護サービスの利用</b>						
16	1	外部の介護サービスの利用ができるよう必要な支援を行っている。			○	非該当
<b>(6) 認知症利用者への対応</b>						
17	1	認知症利用者への対応が適切に行われている。	○			定期的の特養ミーティングで施設内研修を行っている。また必要に応じて利用者をもの忘れ外来に受診させるなど専門医との連携を図っている。
<b>(7) 整容</b>						
18	1	利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○			衣服や髪型等、利用者の好みに沿った支援を行い、要望があれば家族の衣服購入の時に情報提供も行なっている。調査当日にお会いした利用者は身だしなみは整えられ清潔感を感じた。
19	2	利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○			利用者の要望を確認しながら毎月、理容院の訪問にて対応されており、また希望があれば家族への調整を行い外出で理容・美容の支援を行っている。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
<b>(8) 睡眠</b>						
20	1	安眠できるように配慮している。	○			希望に応じて寝具の持ち込みは可能。また睡眠不足にならないよう夜間のケアはユニットミーティングで時間の検討を重ねており、個別支援は適切に記録されている。
<b>(9) 健康管理</b>						
21	1	日常の健康管理は適切である。	○			嘱託医による月2回の往診や看護師による定期的な健康管理が適切に行っており、又週2回の歯科医師による口腔ケアも行われている。
22	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			緊急時対応マニュアルは策定され、急変時は嘱託医や協力病院と連携が図られている。
23	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○	-		看護記録、ヒアリングにて適切に管理がされていた。
<b>(10) 外泊、外出</b>						
24	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○			利用者の希望に応じて職員の同行も可能で適切に支援を行っている。
<b>(11) 所持金・預かり金の管理</b>						
25	1	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○			預かり金取り扱い規定を定めており、開始時には契約を交わしている。また責任の所在等を明確にして適切に管理していることも確認できた。
<b>A-3 自立支援</b>						
<b>(1) 機能回復</b>						
26	1	利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。		○		看護師の指導の元、身体状況に応じて機能訓練が行われているが、現状では生活リハビリが主であり療法士との連携も十分でない判断した。
<b>(2) 生きがいづくり</b>						
27	1	利用者の余暇活動や生きがいづくりへの支援が適切に行われている。		○		利用者の生きがいに対する意向を聞き取り等で把握に努めているが、活動の支援をする域には達していない。施設として今後ユニット外サークル活動の導入を検討しているので期待したい。
<b>(3) 地域生活への移行</b>						
28	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。			○	支援に関する姿勢はあるものの現状では地域生活へ移行するための支援が行われていない。